

## 2021年 3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年 2月 4日

上場会社名 ユナイテッド株式会社 上場取引所 東証マザーズ  
 コード番号 2497 URL https://united.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)早川 与規  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営管理本部長 (氏名)山下 優司 (TEL)03(6821)0000  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月4日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	13,859	△13.3	5,693	74.2	5,777	79.2	3,850	857.1
2020年3月期第3四半期	15,984	△30.3	3,267	△71.0	3,223	△71.3	402	△94.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 9,151百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △10,151百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年3月期第3四半期	円 銭 172.75	円 銭 —
2020年3月期第3四半期	円 銭 17.87	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年3月期第3四半期	百万円 45,145	百万円 34,566	% 76.0
2020年3月期	百万円 33,592	百万円 26,532	% 78.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 34,330百万円 2020年3月期 26,313百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 11.00	円 銭 —	円 銭 2.00	円 銭 13.00
2021年3月期	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2021年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
2021年3月期における配当予想額は、現時点で未定であります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	16,300	△22.1	5,300	3.9	5,300	3.7	3,600	156.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	23,671,845株	2020年3月期	23,671,845株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,823,066株	2020年3月期	1,323,045株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	22,290,592株	2020年3月期3Q	22,509,714株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2021年2月4日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明動画を配信する予定です。動画中で使用する資料等については、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界各地に広がる新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響により経済活動が制限されるなど、極めて厳しい状況となっております。

こうした環境のもと、社会におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)(\*1)の必要性が高まっておりますが、一方で、DXを実現する人材が社会全体で不足しており、国内のIT人材に対する需要が供給を上回るペースで増加していくため、今後IT人材不足は加速していくと考えられます。

当社グループにおきましては、「企業のトランスフォーメーション」と「個人のトランスフォーメーション」を支援することで企業と個人の成長に資するべく、「DXプラットフォーム事業」を今後の成長を見込む最注力事業と位置づけております。また、「インベストメント事業」を「DXプラットフォーム事業」と並ぶ成長期待事業、スマートフォン関連領域に特化した「アドテクノロジー(\*2)事業」及び「コンテンツ事業」を収益期待事業と位置づけ、各事業の成長及び収益性の改善に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、投資先株式の売却を行ったこと等により、売上高は13,859,172千円(前年同期比13.3%減)となり、営業利益は5,693,087千円(前年同期比74.2%増)、経常利益は5,777,825千円(前年同期比79.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,850,676千円(前年同期比857.1%増)となりました。

(\*1) デジタルトランスフォーメーション(DX)：企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

(2018年12月経済産業省公表「デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン (DX推進ガイドライン) Ver. 1.0」より)

(\*2) アドテクノロジー：インターネット広告における広告配信等の技術やシステムを指す。

当第3四半期連結累計期間における各セグメントの概況は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを「DXプラットフォーム事業」「インベストメント事業」「アドテクノロジー事業」及び「コンテンツ事業」の4区分に変更しております。以下の前年同期比較については、変更後の区分方法により作成しております。

#### ① DXプラットフォーム事業

DXプラットフォーム事業は、オンラインプログラミング教育事業を運営するキラメックス(株)、アプリ・システム開発事業を運営する(株)ブリューアス、及びユナイテッド(株)のDXコンサルティング事業により構成されております。

当第3四半期連結累計期間は、キラメックス(株)を中心に事業成長を継続し、売上高は1,897,971千円(前年同期比58.2%増)と増収となりました。一方、キラメックス(株)のプロモーション強化、及び(株)ブリューアスの事業拡大に向けた開発リソース追加等の先行投資を実施した結果、セグメント利益は28,377千円(前年同期比76.9%減)と減益となりました。

#### ② インベストメント事業

インベストメント事業は、シード/アーリーステージを中心としたベンチャー企業への投資を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、投資先の営業投資有価証券を売却したこと等の影響により、売上高は5,858,668千円(前年同期比10.8%増)、セグメント利益は5,592,403千円(前年同期比14.6%増)と増収増益となりました。

#### ③ アドテクノロジー事業

アドテクノロジー事業は、アプリ広告領域において、アプリ特化広告配信プラットフォーム『ADeals』、動画広告配信プラットフォーム『VidSpot』を提供し、ウェブ広告領域において、SSP『adstir』、DSP『Bypass』、アドネットワーク『HaiNa』を提供しております。

当第3四半期連結累計期間は、年度内での撤退を予定しているアプリ広告領域の縮小により売上高は4,299,830

千円(前年同期比17.4%減)と減収となりましたが、収益性重視の運営に移行したことにより、セグメント利益は626,381千円(前年同期比1.2%増)と増益となりました。

④ コンテンツ事業

コンテンツ事業は、スマートフォン向けアプリやウェブサイトを通じた様々なサービスを提供しており、フォッグ㈱、㈱インターナショナルスポーツマーケティング、トレイス㈱及びユニテッド㈱が運営するスマートフォン向けゲームアプリにより構成されています。

当第3四半期連結累計期間は、前期に実施した事業ポートフォリオの整理に伴い、非継続事業の営業赤字が解消されたため、売上高は1,818,688千円(前年同期比58.0%減)と減収となったものの、セグメント利益は184,999千円(前年同期はセグメント損失1,602,139千円)と増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ11,553,066千円増加し、45,145,312千円となりました。これは主に、投資先株式の時価評価の影響により営業投資有価証券が7,780,916千円増加したこと及び投資先株式の売却等により現金及び預金が5,021,935千円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ3,519,103千円増加し、10,579,237千円となりました。これは主に、前述の投資先株式の時価評価の影響により繰延税金負債が2,715,564千円増加したこと及び未払法人税等が1,315,731千円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ8,033,963千円増加し、34,566,075千円となりました。これは主に、投資先株式の時価評価によりその他有価証券評価差額金が5,329,219千円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が3,470,747千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想は2021年3月期第2四半期決算短信で公表した数値から変更はありません。詳細は2020年11月9日に発表しました「2021年3月期通期連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2021年3月期業績見通し(2020年4月～2021年3月)

連結売上高	16,300百万円(前連結会計年度比 22.1%減)
連結営業利益	5,300百万円(前連結会計年度比 3.9%増)
連結経常利益	5,300百万円(前連結会計年度比 3.7%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,600百万円(前連結会計年度比 156.4%増)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,381,660	13,403,596
売掛金	1,693,870	1,126,225
営業投資有価証券	20,992,218	28,773,134
たな卸資産	38,316	44,645
デリバティブ債権	42,251	-
その他	860,153	485,232
貸倒引当金	△8,069	△2,520
流動資産合計	32,000,401	43,830,313
固定資産		
有形固定資産	431,514	339,105
無形固定資産		
のれん	114,881	28,720
その他	361,384	236,932
無形固定資産合計	476,266	265,652
投資その他の資産	684,064	710,241
固定資産合計	1,591,845	1,314,999
資産合計	33,592,246	45,145,312
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	855,717	709,189
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	50,000	-
1年内返済予定の長期借入金	71,040	76,960
未払法人税等	150,418	1,466,149
ポイント引当金	5,063	2,937
その他	892,096	800,917
流動負債合計	2,124,336	3,156,154
固定負債		
社債	175,000	-
長期借入金	178,340	125,060
繰延税金負債	4,582,458	7,298,022
固定負債合計	4,935,798	7,423,082
負債合計	7,060,134	10,579,237

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,923,019	2,923,019
資本剰余金	2,332,513	2,332,513
利益剰余金	11,259,492	14,730,239
自己株式	△1,884,315	△2,638,347
株主資本合計	14,630,709	17,347,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,662,068	16,991,288
繰延ヘッジ損益	29,314	-
為替換算調整勘定	△8,368	△7,857
その他の包括利益累計額合計	11,683,014	16,983,430
新株予約権	218,388	235,219
純資産合計	26,532,112	34,566,075
負債純資産合計	33,592,246	45,145,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	15,984,974	13,859,172
売上原価	8,907,412	5,874,734
売上総利益	7,077,561	7,984,437
販売費及び一般管理費	3,810,157	2,291,350
営業利益	3,267,403	5,693,087
営業外収益		
受取利息及び配当金	206	57
持分法による投資利益	-	76,564
その他	7,209	15,850
営業外収益合計	7,416	92,472
営業外費用		
支払利息	3,606	2,282
持分法による投資損失	19,420	-
為替差損	13,111	2,382
支払手数料	9,401	2,166
その他	5,688	903
営業外費用合計	51,229	7,734
経常利益	3,223,590	5,777,825
特別利益		
新株予約権戻入益	1,818	11,978
関係会社株式売却益	75,520	-
事業譲渡益	10,000	7,000
その他	2,000	-
特別利益合計	89,338	18,978
特別損失		
固定資産除却損	613	3,592
減損損失	2,873,120	-
事務所移転費用	45,262	50,396
事業整理損	-	116,874
関係会社株式売却損	300,775	-
関係会社整理損	70,697	-
投資有価証券評価損	19,655	-
支払負担金	48,284	-
その他	5,096	6,138
特別損失合計	3,363,505	177,002
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△50,576	5,619,801
法人税、住民税及び事業税	92,114	1,441,767
法人税等調整額	△537,495	327,357
法人税等合計	△445,381	1,769,124
四半期純利益	394,804	3,850,676
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,542	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	402,347	3,850,676

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	394,804	3,850,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,543,123	5,353,205
繰延ヘッジ損益	-	△29,314
為替換算調整勘定	△3,638	510
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△23,985
その他の包括利益合計	△10,546,761	5,300,416
四半期包括利益	△10,151,956	9,151,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,144,413	9,151,092
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,542	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年11月9日開催の取締役会決議に基づいて自己株式の取得を行ったこと等に伴い、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が754,032千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が2,638,347千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	DXプラット フォーム事業	インベス トメント事業	アドテク ノロジー事業	コンテ ンツ事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	1,199,672	5,287,210	5,173,520	4,324,571	15,984,974	-	15,984,974
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	32,770	3,560	36,330	△36,330	-
計	1,199,672	5,287,210	5,206,290	4,328,131	16,021,305	△36,330	15,984,974
セグメント利益 又は損失(△)	122,989	4,879,492	618,701	△1,602,139	4,019,043	△751,639	3,267,403

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△751,639千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれんに関する情報

「コンテンツ事業」において、㈱トライフォートの組織再編に伴うのれんの再評価及び㈱アラン・プロダクツの解散に伴い2,773,953千円の減損損失を計上した結果、同額のものれんが減少しております。また、㈱Smarprise及び㈱ラップスの株式譲渡により、のれんの金額が416,708千円減少しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	DXプラットフォーム事業	インベストメント事業	アドテクノロジー事業	コンテンツ事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,895,022	5,858,668	4,299,830	1,805,650	13,859,172	-	13,859,172
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,949	-	-	13,037	15,986	△15,986	-
計	1,897,971	5,858,668	4,299,830	1,818,688	13,875,158	△15,986	13,859,172
セグメント利益	28,377	5,592,403	626,381	184,999	6,432,162	△739,075	5,693,087

(注) 1. セグメント利益の調整額△739,075千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	DXプラットフォーム事業	インベストメント事業	アドテクノロジー事業 (注)1	コンテンツ事業	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額
減損損失	—	—	116,874	—	116,874	50,396	167,270

(注) 1. 一部サービスの収益性低下を受け、事業の選択と集中を図るための事業整理に係る費用であり、四半期連結損益計算書において「事業整理損」と表示しております。

2. 調整額50,396千円は、全額各報告セグメントに配分していない事務所移転に係る費用であり、四半期連結損益計算書において「事務所移転費用」と表示しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、事業ポートフォリオの整理及び注力領域の絞り込みに伴い、報告セグメントを従来の「アドテクノロジー事業」、「ゲーム事業」、「コンテンツ事業」、「インベストメント事業」から、「DXプラットフォーム事業」、「インベストメント事業」、「アドテクノロジー事業」、「コンテンツ事業」へ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

(重要な後発事象)

当社は、2020年10月29日開催の取締役会で決議していた、当社のアドテクノロジー事業に関する権利義務を当社の100%子会社（以下、「新設会社①」という。）に承継させる新設分割、当社のゲーム事業に関する権利義務を当社の100%子会社（以下、「新設会社②」という。）に承継させる新設分割に関して、2021年2月1日を効力発生日として権利義務の承継を完了しました。

(1) 取引の概要

① 新設分割の当事会社の概要

	分割会社	新設会社①	新設会社②
名称	ユナイテッド(株)	ユナイテッドマーケティング テクノロジーズ(株)	プラスユー(株)
事業内容	DXプラットフォーム事業 インベストメント事業	アドテクノロジー事業	ゲーム事業
資本金	2,923,019千円	10,000千円	10,000千円

② 企業結合日

2021年2月1日

③ 新設分割の方式

当社を分割会社とし、新設会社2社を承継会社とする当社単独の簡易新設分割

④ その他取引の概要に関する事項

当社のアドテクノロジー事業及びゲーム事業を分社化し、当社単体の事業をDXプラットフォーム事業に集中させることで、DXプラットフォーム事業の更なる強化を図っていくことを目的としております。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。